

入院日

月

日

曜日 (

時

分)

入院日までの  
お問い合わせ・入退院センター

入院受付窓口：1F入院受付(土日祝日は直接入院病棟)におこしください  
電話番号：055-253-7111 (病院代表)  
受付時間：月～金(祝日を除く) 8:30～17:15

# 入院のご案内

Information on hospitalization

## 1 入院にあたって

基本理念、基本方針	1
患者さんの権利について	1
患者さんの責務について	1
患者さんの個人情報保護について	2
入院するにあたって、お薬中止のご案内	3
入院の手続きについて	4
入院当日の持ち物	5

## 2 入院生活について

基本的な入院生活	6
入院に際してのお願い	6
入院中の過ごし方	7
安全に医療を受けるために	8
入院生活を安全に過ごしていただくために	9
転倒危険度をチェックしてみましょう!	10
せん妄について	11
手術を受ける方へ	13

## 3 退院及び費用に関するご案内

退院の手続きについて、お支払について	14
DPC、室料差額	15
食事・病衣・付き添い寝具の代金について	15
出産一時金直接支払制度	15
高額療養費制度について	16

## 4 相談・お手続きなどのご案内

地域医療連携・医科歯科連携について	17
患者相談窓口のご案内	18
診断書・証明書等の申請について	19
患者さんの声、来院される皆様へのお願い	19

## 5 各施設に関するご案内

災害発生時について、施設のご案内	20
フロアのご案内、開錠時間について	21
フロアマップ	22
駐車場のご案内、交通のご案内	23

## 基本理念

信頼される質の高い医療を提供し、  
誰もがいきいきと暮らせる地域社会づくりに貢献します。

## 基本方針

- 1 安全・安心な患者さん中心の医療を提供します。
- 2 専門知識の修得と技術の向上に努め、質の高い医療を提供します。
- 3 県の基幹病院として地域医療機関と連携し、医療水準の向上に努めます。
- 4 業務の改善や効率化を図り、健全な病院運営に努めます。

## 患者さんの権利について

当院では、患者さんの権利を尊重し、一人ひとりのニーズに対応した、思いやりのあるきめこまやかなケアを提供するよう心がけています。

患者さんと医療従事者がお互いの信頼関係に基づいて協力し合い、患者さんが医療に主体的に参加できるよう支援して参ります。

- 十分な説明のもとに適切な治療を受ける権利
- 法律等に基づく情報提供を受ける権利
- プライバシーを尊重される権利
- 人格を尊重される権利
- 差別されることなく平等に治療を受ける権利
- 病院や医師を選ぶ権利



## 患者さんの責務について

- 適切な医療を受けるため、患者さんの病歴や健康状態など必要な情報を正確に伝えましょう。
- 検査や治療などの医療行為は、医師や看護師等の説明、治療方針などを十分に理解し、合意の上で受けましょう。
- 治療中に症状の変化や問題が生じた時には、速やかに医師や看護師等に伝えましょう。
- 病院内では、他の患者さんの治療に支障とならないよう配慮しましょう。

# 患者さんの個人情報保護について

当院では、個人情報を次の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

## 当院における個人情報の利用目的

### ① 医療提供

- (1)当院での医療サービスの提供
- (2)他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- (3)他の医療機関等からの照会への回答
- (4)患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- (5)検体検査業務の委託その他の業務委託
- (6)ご家族等への病状説明
- (7)その他、患者さんへの医療提供に関する利用

### ② 診療費請求のための事務

- (1)当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
- (2)審査支払機関へのレセプトの提出
- (3)審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- (4)公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
- (5)その他、医療・介護・労災保険および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

### ③ 当院の管理運営業務

- (1)会計・経理
- (2)医療事故等の報告
- (3)当該患者さんの医療サービスの向上
- (4)入退院等の病棟管理
- (5)医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- (6)当院内において行われる医療実習への協力
- (7)医療の質の向上を目的とした当院内での症例研究
- (8)外部監査機関への情報提供
- (9)その他、当院の管理運営業務に関する利用

### ④ 事業所等から委託を受けて行う健康診断等における、事業所等へのその結果の通知

### ⑤ 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

### ⑥ 法令等に基づいた行政機関等への届出・報告等

### ⑦ 医療の質の向上を目的とした教育や症例研究及び研究会・学会等での発表

### ⑧ がん登録等の推進に関する法律に基づくがん登録事業に対する必要な情報の利用及び提供

### ⑨ 一般社団法人 National Clinical Database が実施する事業への医療情報の提供

### ⑩ 臨床研究・治験に関わる調査（スクリーニング）および業務実施

- ◆ 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください。
- ◆ お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
- ◆ これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。

## 入院するにあたって

### 入院日時が決まった方

来院前に自宅で検温をして来てください。(付き添いの方もお願いします。) インフルエンザ対策のため、冬期(11月～3月)に入院予定がある場合はインフルエンザワクチンの接種をお願いします。



### 入院日時が決まっていない方

後日、入退院センターまたは外来から入院日、入院時間等の連絡をいたします。



入院関連病棟が満床の場合は、他病棟に入院することがあります。また、お部屋もご希望どおりにならない場合があります。

**入院当日受付窓口**

場 所： **1F 入院受付**

(土日祝日の入院は、直接病棟におこしてください。)

## お薬中止のご案内



### 手術や検査の前に服用を中止する必要があるお薬があります

手術や検査を受けられる予定の方は、必ず、服用している全てのお薬を主治医や薬剤師にお伝えください。血栓の治療や予防など、血液を固まりにくくするお薬などは手術や検査の前に中止する場合があります。

また、CT検査では一部の血糖値を下げるお薬を検査前に中止する場合があります。

### 入院に合わせ、お薬：

服用しないでください。

※中止する薬や中止する期間は、手術や検査の内容によって異なりますのでご注意ください。

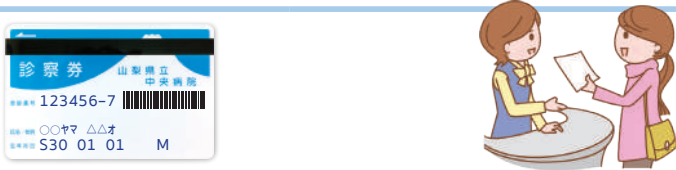


以下の内容にご留意ください。

- 中止する必要がある薬を服用してしまったために、手術や検査が遅延されることがあります。
- 本日確認したお薬以外に追加で使用する場合、成分を確認しますので、服用前にご連絡ください。
- 中止の指示がないお薬をご自身の判断で中止した場合は、病気の悪化につながる可能性があります。
- お薬を中止して具合が悪くなった(手足のしびれ、動悸、息切れなど)場合は、すぐにご連絡ください。

# 入院の手続きについて

## 入院に必要な書類

- |    |                          |                   |   |
|----|--------------------------|-------------------|---|
| 1  | <input type="checkbox"/> | 入院誓約書（兼入院申込書）     | 入院に関する契約書で、患者さんと連帯保証人欄の記載が必要です。   |
| 2  | <input type="checkbox"/> | 保険証（またはマイナンバーカード） | 入院に際し、保険情報を確認させていただきます。   |
| 3  | <input type="checkbox"/> | 限度額適用認定証          | 70歳未満の方 ※ P16を参照ください  |
| 4  | <input type="checkbox"/> | 限度額適用・標準負担額減額認定証  | 70歳以上の方（該当者のみ）<br>※ P16を参照ください  |
| 5  | <input type="checkbox"/> | 各公費負担医療受給者証       | お持ちの方のみ   |
| 6  | <input type="checkbox"/> | 診察券               |      |
| 7  | <input type="checkbox"/> | 入院中の病衣貸与について      | 入院中、病衣の貸し出しをご希望の場合にご記入ください。<br>(一般病衣貸与料 45円/日)  |
| 8  | <input type="checkbox"/> | 体調チェック表           |   |
| 9  | <input type="checkbox"/> | 他院からの退院証明書        | 今回の入院日より3か月以内に他の病院に入院していたことがあるかを確認いたします。前回入院していた医療機関から発行された「退院証明書」をお持ちの方は、入院の際にご持参ください。 |
| 10 | <input type="checkbox"/> | 医療券（生活保護受給者）      | 該当者のみ   |
| 11 | <input type="checkbox"/> | 子ども医療費助成金受給資格者証   | 該当者のみ   |

 **入院の際に、入院受付にご提出ください。**

### 保険証の確認について

入院に際して保険証を確認させていただきます。また、入院中であっても毎月1回、保険証・各種医療証の提示をお願いします。

入院中に保険証・各種医療証の変更があった場合は、速やかにお申し出ください。

保険証を提示されない場合は、**全額を自費で請求させていただきますことをご承知ください。**

1

入院にあたって

# 入院当日の持ち物

入院当日は以下のものをお持ちください。鋭利なもの（はさみ・かみそり）、電化製品（パソコン・DVD・電気毛布など）の持ち込みはご遠慮ください。

\*パソコンでのインターネット通信はできません。

持ち物には  
お名前の記入を  
お願いします



<input type="checkbox"/> <b>肌着類</b> 使用中の方は オムツ・ パッド類 	<input type="checkbox"/> <b>すべりにくい履物</b> スリッパはすべりや すいので禁止です。 履きなれた、滑りに くいかかとを覆う靴 (ヒモなし)で過ごしましょう。 	<input type="checkbox"/> <b>洗面用具</b> 歯ブラシ 歯磨き粉など ※入れ歯の方は、 <b>入れ 歯ケース</b> と洗浄剤もお 持ちください。 
<input type="checkbox"/> <b>ティッシュペーパー</b> <input type="checkbox"/> <b>ウエットティッシュ</b>	<input type="checkbox"/> <b>タオル</b> <b>バスタオル</b> 	<input type="checkbox"/> <b>入浴用品</b> 石けん、シャンプー・リンスなど
<input type="checkbox"/> <b>筆記用具</b> 油性ペン 	<input type="checkbox"/> <b>湯飲み</b> プラスチックのコップ など割れにくいものをご用意く ださい。箸、スプーンは不要です。(小 児科は持参してください) 	<input type="checkbox"/> <b>寝間着</b> 有料で病院のものを ご利用いただくことも できます。 
<input type="checkbox"/> <b>イヤホン</b> テレビをご覧になる 場合は、イヤホン をご使用ください。 	<input type="checkbox"/> <b>必要に応じ</b> めがね、コンタクト レンズ、補聴器など とその保管容器 	<input type="checkbox"/> <b>入院に必要な書類</b> <input type="checkbox"/> <b>入院のご案内 (本冊子)</b>
<input type="checkbox"/> <b>診察券</b> <input type="checkbox"/> <b>保険証</b> <input type="checkbox"/> <b>限度額適用認定証 などの各種受給券</b> 	<input type="checkbox"/> <b>印鑑</b> シャチハタもご利用いただけます。 	<input type="checkbox"/> <b>マスク</b> 
<input type="checkbox"/> <b>お薬手帳</b> <input type="checkbox"/> <b>常備薬（市販薬など）</b> お薬手帳をお持ちでない場合は、薬の内容が わかる処方せんをお持ちください。 なお、医師の判断により、持参薬を使用しない場合もあります。 	<input checked="" type="checkbox"/> <b>衛生用品は、売店（セブ ンイレブン）で購入でき ます。</b> 	

## 手術・出産などで必要なもの

手術により準備する物品の種類が異なりますので、外来・病棟でご説明いたします。  
出産の準備物品は「出会い」のテキストをご覧ください。

# 基本的な入院生活



## 6:00 起床

採血などの検査や  
体調の確認などを  
行います。



## 8:00 朝食

診察、処置、検査  
などを行います。



## 12:00 昼食

午後の検温、処置、検査を行います。



## 18:00 夕食



## 21:30 消灯

病棟の廊下、明かりが消えます。  
消灯後は大部屋でのテレビ視聴は  
ご遠慮ください。

## 入院に際してのお願い

- 小児病棟に入院する患者さん（小児科除く）には、入院日も外来を受診していただきます。入院する日は、再来受付機で受付し、外来にお越しください。
- 小児病棟では、患者さんの精神的側面を配慮して、ご両親や祖父母などの付き添いをお願いすることがあります。
- 手術が必要な患者さんは、手術日は当院の病衣を着用していただきます。
- 病状に応じて病室を決めているため、個室の希望は受けていません。

## ●ナースコールについて

看護師にご用の際、押してください。

## ●入院中の食事について

入院中の食事は、すべて病院で用意します。

症状や検査、処置により、禁食になる場合があります。

## ●入浴・シャワー浴について

医師の許可により、シャワー等をご利用いただけます。

ご利用時は必ず病棟スタッフへお申し出ください。

## ●病衣・リネン交換について

シーツ、枕カバー、掛け布団カバーは定期的に交換します。汚れた場合は、随時交換します。

病衣は、夏は週3回、冬は週2回交換します。

## ●医師から病状説明を受けたい場合

医師からの病状説明や面談をご希望の際は、事前に医師または看護師にお知らせください。

## ●外出・外泊について

外出・外泊は担当医の許可および病棟への申請が必要です。

外出・外泊をご希望の方は、医師、看護師にご相談ください。

## ●現金・貴重品の取り扱い

多額な現金、貴重品のお持込はご遠慮ください。病室のセーフティボックスを利用し盗難・紛失などにご注意ください。なお、盗難・紛失された場合、病院では責任をおいかねます。

## ●館内、敷地内とも、喫煙及び飲酒は禁止です。

## ●ペットの連れ込みは固くお断りします。

原則、補助犬の同伴もご遠慮いただいております。

# 入院中の過ごし方

## 1 付き添い

付き添いは原則として必要ありません。病状その他の理由で付き添いを希望する場合、主治医または看護師にご相談ください。

## 2 面会

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、病状説明、手術時の待機など病院から依頼された場合を除き、入院患者さんへの面会は当分の間禁止させていただいています。

### 【ご家族にお願い】

生活必需品、洗濯物等を入院患者さんに届ける場合は以下の時間をお願いします。

- ・ 平日：14時～19時 病棟入口（ナースステーション）にお届けください。

### 【患者さん・ご家族へ】

患者さんのスマートフォンでテレビ電話などでお話しできるよう、利用時間や場所の制限を緩和しています。公共マナーを守りご利用ください。

スマートフォンなどを使用できない患者さんに対しては「オンライン面会システム」（平日14時～16時）を導入しています。詳しくは病棟看護師におたずねください。

## 3 病室について

- ・ 病状などにより、入院中、病室の移動をお願いする場合があります。
- ・ 病室清掃や環境整備等の理由により、不在時に職員が入室する場合があります。
- ・ ほかの病室や診察室、看護室等に入らないようご協力願います。

## 4 院内設備

### ○冷蔵庫・テレビ・Wi-Fi

テレビカードでご利用いただけます。**テレビカードにはお名前をご記入ください。**

病室のテレビを使用される際は、イヤホンが必要となります。あらかじめご用意いただくか、デイルーム及び売店でお買い求めください。

Wi-Fiは、テレビカードを用いて各階デイルームにあるWi-Fi発券機でチケットを購入し、記載しているパスワードとワンタイムパスコードを入力することで利用できます。

テレビカードは1枚1,000円で各階デイルームにあるカード販売機で購入できます。

テレビカード販売機は、1,000円札以外使用できません。

カードの残りは1階正面玄関にある払い戻し機で精算できます。

盗難防止のために病室を離れる際は、現金同様に管理をお願いします。

### ○ランドリー設備（洗濯機・乾燥機）

9階にあります。洗剤は売店でご購入ください。利用時間 6:00～21:00

(20:00までには終了してください。)

## 5 他院への受診

入院中（外出・外泊時を含む）は、当院において診療を行うことが出来ない専門的な診療が必要となった場合などやむを得ない場合以外は、他の医療機関への受診または他院の処方薬をもらいに行くことはできません。やむを得ず受診する必要がある場合は、必ず主治医や看護師にご相談ください。

なお、無断受診された際の診療費は、原則、患者さんの全額自己負担となりますので、ご注意ください。

## 6 セカンドオピニオン

入院中に他院へのセカンドオピニオンを受けることができます。

## 7 その他

○入院中に病棟を離れる際は、看護師にお声掛けください。また、敷地外に出る場合は医師の許可が必要です。

○職員への謝礼等はお断りしています。



# 安全に医療を受けるために

## ① 治療への参加に関して

検査や治療は、医療者が説明を行い、患者さんやご家族の同意を得て行います。医療者からの説明を受けて、充分理解した上で同意書にサインをしてください。わからないことや心配なことは遠慮なくお尋ねください。

また、検査時や手術中にご家族に院内待機を依頼することがあります。待機場所は各部署でご確認ください。

## ② 薬に関して

入院される際、服用している内服薬(他の病院から処方されているものや市販薬を含む)・外用薬(軟膏、湿布薬など)・注射薬(インスリンなど)をご持参ください。薬剤の確認を行ったうえで、服用(使用)の継続について医師から説明いたします。

また、今までに薬を服用(使用)した時に起こったアレルギーや副作用について医療者にお伝えください。

## ③ 患者確認に関して

「患者間違い防止」のため、様々な場面(診察、注射、検査、手術、食事等)で生年月日とお名前を確認しております。生年月日とお名前(フルネーム)でのお答えにご協力ください。また点滴ボトルや薬袋等にご自分の名前が書かれているのを医療者とご確認ください。

## ④ リストバンドの装着

患者さん本人であることを確認し安全な医療を受けていただくために、入院中はお名前を記入したリストバンド(手首に巻くネームバンド)を常時着けていただきます。



## ⑤ 転倒転落などの危険防止

入院により環境が変わること・病気や治療手術や点滴などの影響で、移動時に転倒したりベッドや椅子から転落する方がいます。また十分な転倒予防対策をしても、完全に防止することは出来ません。転倒転落事例では、頭部強打による頭蓋内出血(頭の中の出血)や骨折をしてしまう方がいます。状態に応じて、病室の移動や危険防止のための用具(ベッドの工夫やセンサー)を使用する場合があります。危険防止対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

## ⑥ 院内感染防止

ご面会の際は、面会者は病棟入口にある面会簿へ記入をお願いします。



また、手の消毒をお願いします。

なお、マスクの着用をお願いする場合や面会をお断りする場合があります。



## ⑦ 院内暴力対策

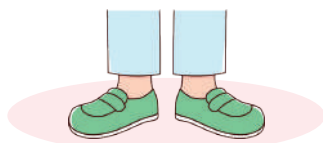
診療の妨げになるような、暴力・暴言・セクシュアルハラスメントなどの迷惑行為が発生した場合には、退院していただくことがあります。

## ⑧ その他

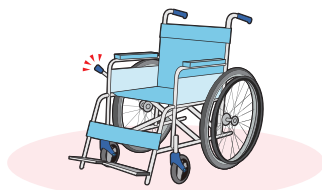
喫煙や飲酒、器物損害などにより、院内の秩序を乱す行為があった場合には、退院していただくことがあります。

# 入院生活を安全に過ごしていただくために

## 転倒・転落の予防



- ・スリッパは滑りやすく、転倒などのケガのもとになります。入院中は履きなれた、滑りにくいかかとを覆う靴(ヒモなし)で過ごしましょう。



- ・車いすの停止時には、動かないよう必ずブレーキをかけてください。



- ・ベッドからの転落を防ぐため、ベッド柵をご利用ください。



- ・トイレなどに移動する際は、遠慮せずにナースコールを押してください。

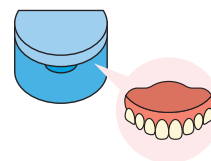


- ・歩行時、段差等に注意してください。

安静制限のない方は、転ばないように気をつけて歩行運動をしてください。ベッド上では足首の運動をこまめに行ってください。血栓予防にもつながります。

## 私物の管理

- 検査や処置等により入れ歯や補聴器をはずした際に紛失の危険があります。
  - ・入れ歯は患者さん各自で専用の容器を準備し、保管してください。ティッシュペーパーには包まないでください。
  - ・補聴器の紛失や置き忘れにご注意ください。
- 病衣交換の際は、ポケット内に私物が入っていないか確認してください。
- 携帯電話等は各自で管理をお願いします。
- 持ち物にはお名前の記入をお願いします。



## 医療機器使用時の注意

- ・医療機器の使用中にアラームが鳴った場合は、医療者が対応します。

## 患者さんへのお願い

- **お名前と生年月日を伝えください**
  - ・病院には、よく似た名前の方がいらっしゃる場合があります。点滴・内服や検査の前など、ご自分のお名前(フルネーム)と生年月日を伝え、ネームバンドをお見せください。
- **薬は正しく飲みましょう**
  - ・「変だな?」「よくわからない」と思ったら、医師・看護師にご確認ください。
  - ・薬剤師の説明も受けられます。
- **不安な気持ちや悩みをお話ください**
  - ・家族や友人、病院の職員などに気持ちをお伝えください。
  - ・一緒に治療に取り組んでいきましょう。
- **感染予防の基本は手洗いです**
  - ・手洗いをして菌の侵入を防ぎましょう。



## 転倒危険度をチェックしてみましょう！

1. 転倒・転落をしたことがありますか？（スポーツなどを除く）	はい	いいえ
2. 普段めまいや立ち眩みを感じますか？	はい	いいえ
3. 目や耳が悪く、日常生活が不便ですか？	はい	いいえ
4. 足腰がよわくなったと感じますか？	はい	いいえ
5. 足にしびれはありますか？ 足は動かしにくいですか？ 骨や関節に異常はありますか？	はい	いいえ
6. 歩行時、ふらつきを感じますか？	はい	いいえ
7. 補助具（杖、車いす、押し車など）を使用していますか？	はい	いいえ
8. 痛み止め、睡眠薬、精神安定剤、降圧剤、下剤を飲んで いますか？	はい	いいえ
9. 自宅では布団を使用していますか？（ベッドではない）	はい	いいえ
10. 夜間トイレに起きますか？	はい	いいえ

普段の生活の中で転倒しやすい場所をチェックするための合い言葉

### ぬ か づ け

ぬ れているところは、すべりやすい



か いたん、段差があるところは、転びやすい



片 づ け ていない部屋はつまずきやすい



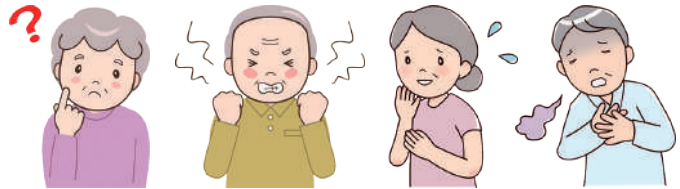
# せん妄について

## せん妄とは

病気により体の調子が悪くなることで生じる、**脳の機能の乱れ（意識障害）**です。治療のお薬や、環境、持病なども影響することがあります。

一時的で強い  
寝ぼけのよう  
なものです

認知症やうつ病  
の症状に似てい  
ますが異なるも  
のです



## せん妄になりやすい方は

- 高齢の方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- 認知症や普段から物忘れがある方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方
- 神経に作用する薬を飲んでいる方
- 全身麻酔の手術後又はおこなう予定のある方
- 以前にせん妄になったことがある方

## せん妄の症状

### ● 場所や時間の感覚が鈍くなる

- ・ 居場所や、今日が何月何日かわかりにくい
- ・ 昼や夜の区別や時間がわかりにくい

### ● 話していることのつじつまが合わない

- ・ 過去のことを今のことのように話す
- ・ 現実とは違うことを話す

### ● 昼と夜の感覚が鈍くなる

- ・ 眠る時間と起きる時間が不規則になる
- ・ 昼間眠って、夜眠れなくなる

### ● 幻覚がみえる

- ・ 実際にはないものがみえる
- ・ 「部屋の壁の様子が動いて見える」「部屋の中に虫がみえる」

### ● 落ち着きがない

- ・ 何度もベッドから起き上がる
- ・ 繰り返してどこかへ行こうとする

### ● 怒りっぽくなり、時には荒っぽくなる

### ● からだについている治療のための管を「知らずに」抜いてしまう

## せん妄の治療やケア

せん妄は、からだの負担を原因とする脳の機能の乱れであるため、**負担となったからだの問題をとりのぞくことが治療の基本**となります。

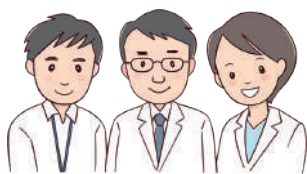
その上で以下のようなことをおこないます。



- ➔場所や時間の感覚を取り戻すように、お伺いすることがあります。
- ➔辻褃の合わない会話であっても、否定しないようにします。
- ➔昼間は日光を採り入れ明るくし、適度な活動をします。(テレビ、ラジオ、新聞、会話、散歩など)
- ➔日頃、使用していた時計やカレンダー・ご家族とのお写真など、可能でしたら持参し、目の届く場所に置いてください。
- ➔起きている間は、眼鏡、補聴器、義歯などを積極的に使用します。
- ➔不快な症状(痛み、息苦しさ、痒み、便秘、不眠等)の緩和につとめていきます。
- ➔興奮を鎮めたり、夜によく眠れるように内服・点滴をすることがあります。
- ➔刃物(ナイフ、ハサミ)、ライター、割れ物、紐類など扱いによって危険につながるものは、持ち込まないようにします。

## ご家族の方へ

- ▶つじつまの合わない話があっても、無理にただす必要はありません。
- ▶いつも通り落ち着いた言葉かけをお願いします。
- ▶適切な刺激があることは重要です。眼鏡や補聴器がある場合はご持参ください。
- ▶怪我や事故防止のため、ナイフやはさみ等の危険物の持ち込みはしないでください。
- ▶家族など慣れ親しんだ人との会話は、不安を感じておられる患者さんにとって、大きな安心となりますので、付き添いなどでご協力をお願いすることもあります。



※分からないこと、お困りのことがありましたら、遠慮なく看護師や担当医にご相談ください

山梨県立中央病院 精神科リエゾンチーム

患者さんの意識が混乱しているときは、ご家族の協力が大きな助けになります。



## 手術を受ける方へ 入院前に協力していただきたいこと

### ●術前からの口腔ケア

歯垢には歯周病菌などの病原性の高い菌が存在し、うがいや消毒薬だけでは菌を除去することはできません。歯垢や歯石などの汚れがあると、細菌が肺に入ったり血液に入るなどして、手術後に肺炎などの重い感染症の原因となることがあります。

そのため、口の中をきれいに保ちこれらの合併症を予防することは入院期間を減らすことにつながります。特に全身麻酔を受ける方は、こまめに歯磨きをして口の中の清潔を保ちましょう。またかかりつけの歯科医院を受診し、治療が必要な場合は入院までの期間を利用して歯科治療を行ってください。



### ●マニキュア・ジェルネイルについて

手術中は爪の色の確認や体の中の酸素の量をはかる必要があるためマニキュアは必ず入院前におとしてきてください。



### ●指輪等の装着物について

手術中は麻酔などの影響で指などの末梢部にむくみを起こしやすく、密着した指輪は血液の流れを妨げる原因になります。また電気メスなどを使用する場合はやけどの危険性もあります。そのため手術の際ははずしていただく必要があります。

指輪やピアスなどははずれない場合は、処置が必要な場合もあるため必ず事前に看護師にお知らせください。

### ●刺青・タトゥー・眉やアイラインのアートメイクについて

色素の成分に金属が含まれていることがあり、やけどの危険があります。また手術時の切開部位や麻酔の種類によってはゆがみなどの生じる可能性もあります。手術の準備でも検討が必要な場合があるため、刺青などがはいつている方は必ず事前に医師・看護師に伝えてください。

### ●髪の毛・まつ毛のエクステンションについて

髪の毛のエクステンションは、金属やゴムなどがついている場合は必ず入院前に外してきてください。

まつ毛のエクステンションはそのままでかまいませんが、抜けてしまうことがありますのでご了承ください。

### ●ひげについて

全身麻酔の場合は、ひげが麻酔の妨げになることがあるため、口の周りのひげは入院前に剃ってきてください。



### ●ペースメーカーや埋込型除細動器を使用中的の方

手術中に設定の変更を行う場合がありますので、入院時には必ずペースメーカー手帳を持参してください。

## 退院の手続きについて

主治医の退院許可があると退院となります。詳細については主治医、看護師の指示に従ってください。

大勢の患者さんが入院を待っていますので、患者さんのご都合で大安や週末まで退院を延ばすことは原則としてできませんのでご協力願います。

- ・退院時間は原則として9：30から10：00または、9：00から9：30（9：45）です。
- ・入院待ちの患者さんや緊急入院の病室確保のため、午前中の退院にご協力ください。



## お支払について

当院は、健康保険法又は老人保健法で規定する診療報酬点数表により入院診療費を算定しています。ただし、保険が適用されないもの（室料差額、分娩料、文書料等）については、当院の定めるところにより請求させていただきます。保険証を提示されない場合・保険証が有効でなかった場合は、全額を自費で請求させていただきますことをご承知ください。

### ●入院費の支払方法・支払期限・診療明細書の発行について

入院費は、退院時に1F会計窓口付近の診療費支払機にてお支払ください。（お支払の際は診察券が必要です。）

- ・クレジットカード、デビットカードが使用できます。
- ・退院時の計算ができ次第連絡しますので病室でお待ちください。
- ・入院診療費について、ご不明な点がございましたら、病棟の事務スタッフにおたずねください。
- ・土・日退院の方は、診療費支払機により金曜日18時までにお支払ください。



### 診療費支払機稼働時間

平日のみ  
9：00～17：15  
ただし、金曜日  
9：00～18：00

※月締めの入院診療費の請求は、翌月中旬頃病室へ診療費の明細を記した請求書をお届けしますので、お受け取り後1週間以内に入院受付へ保険証を提示し、診療費支払機にてお支払ください。

- ・お支払が終了しますと領収書と診療明細書が発行されます。領収書及び診療明細書は再発行できませんので、紛失されないようご注意ください。
- ・診療費支払機は、一部ご利用できない場合がありますが、その際は1F会計フロア5番窓口へお越しください。

## D P C

当院では、D P C制度（包括評価算定方式）を導入しております。

これにより、一般病棟に入院された方の入院料は、包括算定（包括診療料）により計算されます。

包括診療料は、1日当たりの定額の入院料が病気の種類と診療内容によって定められた診断群分類により算定されます。

包括診療料には、入院基本料、投薬・注射、処理、検査等が含まれます。

ただし、手術料等一部適用外のものは、出来高での算定となります。

入院中の他医療機関への受診、または投薬を希望される場合は、必ず医師・看護師にご相談ください。無断受診された際の診療費は、原則、患者さんの全額自己負担となりますのでご注意ください。

## 室料差額

当院では、個室・特別室をご用意しておりますが、**病状を優先しますので、病棟の状況によってはご利用できない場合があります。**

このようなお部屋をご利用の場合は、一部を除き別途料金をご負担いただいております。

特別室をご希望された方は、室料差額支払い同意書にご記入のうえ、病棟看護師にご提出ください。

	特別室A (一人部屋)	特別室B (一人部屋)	特別室C (一人部屋)	特別室D (二人部屋)
1日あたり (保険適用外)	22,000円	7,200円	6,600円	1,975円
設 備	洗面所、トイレ、 ユニットシャワー、 電話、電子レンジ、 ロッカー、応接セッ ト、冷蔵庫、テレビ、 床頭台、調理台	洗面所、トイレ、 ロッカー、冷蔵庫、 テレビ、床頭台、 ユニットシャワー	洗面所、トイレ、 ロッカー、冷蔵庫、 テレビ、床頭台	洗面所、トイレ、 ロッカー、冷蔵庫、 テレビ、床頭台
病床数	3	4	87	10
病 棟	7A、5B、7B	2C	一般病棟	一般病棟

## 食事・病衣・付き添い寝具の代金について

- ①病衣…45円/日、付き添い寝具・ふとん…110円/日、ベッド…55円/日となります。
- ②食事については保険の有無や種類、あるいは公費負担によって金額が異なります。
- ③食事は医師の指示により提供しておりますので、患者さんの都合により食事をされない場合でも、料金はかかります。また、食事の量の多少にかかわらず1食として計算します。公費受給者証や標準負担額減額認定証の交付を受けている場合は、入院受付窓口に認定証を提示してください。

## 出産一時金直接支払制度

出産育児一時金の支給額（原則42万円）を上限として、保険者から医療機関へ出産費用を直接支払う制度です。

不明な点について、医事課職員までおたずねください。



## 高額療養費制度について

「高額療養費制度」とは、窓口で支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合、後でその差額分が保険者から支給される制度です。

### 70歳未満の患者さんは・・・

事前に保険証発行元に「限度額適用認定証」の交付手続きを行い、認定証をお手元にご用意いただくと、1ヶ月あたりの医療費（窓口での自己負担分）が、所定の上限金額までのお支払いで済みます。入院当日までに認定証を「入院受付」へご提示ください。入院当日までにご用意できない場合は退院日までに「入院受付」へご提示ください。

対象者	1ヶ月あたりの自己負担限度額 (過去1年以内で3回目まで)	多数該当 (4回目以降)
年収約1,160万円～(ア)	252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1%	140,100円
年収約770万円～約1,160万円(イ)	167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1%	93,000円
年収約370万円～約770万円(ウ)	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
～年収約370万円(エ)	57,600円	44,400円
住民税非課税(オ)	35,400円	24,600円

### 70歳以上の患者さんは・・・

現役並みⅠ・Ⅱの方は、「限度額適用認定証」をご提示していただくと、窓口での自己負担が上限金額までのお支払いで済みます。

「住民税非課税世帯Ⅱ」及び「住民税非課税世帯Ⅰ」の適用を受ける場合は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受け、入院日当日までに「入院受付」へご提示ください。入院当日までにご用意できない場合は退院日までに「入院受付」へご提示ください。

	適用区分	自己負担割合		自己負担上限額
現役並み	Ⅲ 課税所得 690万円以上	3割		252,600円 + (医療費 - 842,000円) × 1% 〈多数回140,100円〉
	Ⅱ 課税所得 380万円以上			167,400円 + (医療費 - 558,000円) × 1% 〈多数回93,000円〉
	Ⅰ 課税所得 145万円以上			80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% 〈多数回44,400円〉
一般	課税所得 145万円未満	2割	1割	57,600円 〈多数回44,400円〉
住民税非課税	住民税非課税世帯Ⅱ	70歳 74歳	75歳以上	24,600円
	住民税非課税世帯Ⅰ			15,000円

### ※制度ご利用にあたっての注意点

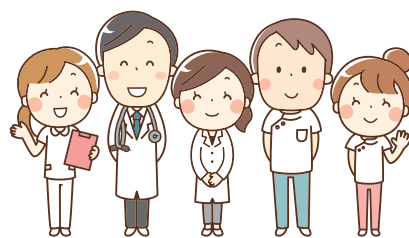
- 過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。(保険証種別や、本人・家族区分に変更が生じた場合は、新たに1回目となるため、変更前の保険証使用月から通算で4回目とはなりません。)
- 自己負担限度額は月毎の適用となります。月をまたいでの適用はありません。また、入院・外来別の適用となります。入院・外来合算での摘要はありません。
- 自己負担限度額は医療機関別の適用となります。他院受診分と合算して自己負担限度額を超える場合は、保険証発行元へ還付(償還払い)の手続きを行ってください。
- 食事負担金・室料差額・病衣等の自費分は対象になりません。
- 制度や手続きについては、保険証発行元へお問い合わせください。
- 退院日までに認定証の提示が間に合わない場合は、病院事務スタッフまたは入院受付へお伝えください。

## 地域医療連携・医科歯科連携について

地域医療連携とは、診療拠点病院（中央病院）と連携医療機関（かかりつけ医）との間で病状の情報交換を密に行い、診療の役割分担を決め継続的な医療を提供する仕組みです。

医療連携により患者さんは、中央病院とかかりつけ医の二人の主治医を持つこととなります。基礎疾患（糖尿病・高血圧など）がある方や、風邪などの急性疾患、また遠方から通院している患者さんはかかりつけ医で診てもらう事で、待ち時間・通院時間の短縮につながります。地域医療連携を利用することでかかりつけ医でも中央病院でも同じ内容で、きめ細かい医療を受けることができます。かかりつけ医を決めていきましょう。

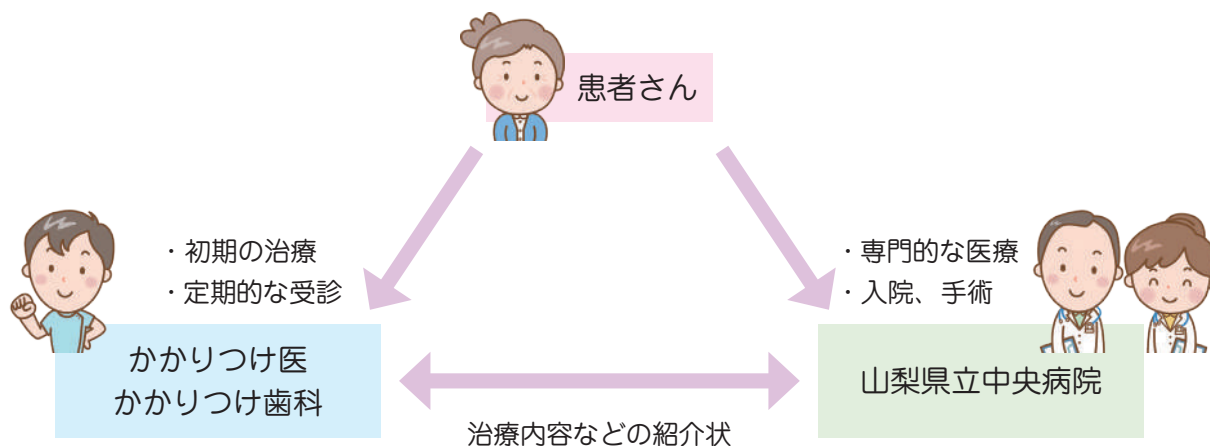
医科歯科連携とは医科と歯科が協働し、患者さんの傷病に対し総合的な治療にあたる事をいいます。現在の病気に対し検査や治療を行う上で、口腔内の環境を整えることは検査や手術後の合併症の予防、治療による口腔内軟膜への影響を最小限にすることができるといわれています。入院前から歯科受診を行い、口腔の状態を整えておきましょう。



### 「かかりつけ医」「かかりつけ歯科」をお持ちの患者さんへ

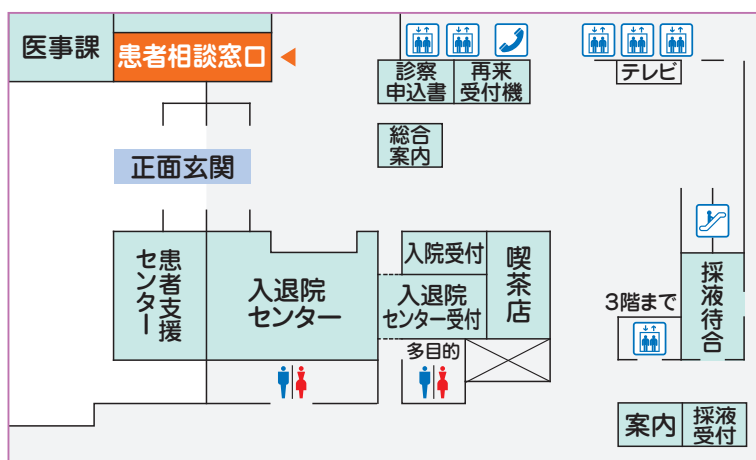
当院と、地域の医院・クリニック・診療所が、患者さんの医療を共有することで、お互いのスムーズな連携が進み、患者さんがよりよい医療を受けることができます。

当院では、「定期的に通院している」「定期的にお薬をいただいている」など、地域の「かかりつけ医」「かかりつけ歯科」をお持ちの患者さんが、退院後も安心してかかりつけ医を受診できるよう、退院時に、入院中の診療に関する情報を紹介状として提供しています。紹介状のご希望がありましたら、スタッフへお声かけください。



## 患者相談窓口のご案内

**場所** 1階 正面玄関横（相談は個室で行います）



### 医療福祉相談

診療相談 / 退院・転院相談 / 入院費の相談 / 介護保険  
福祉制度 / 在宅医療 / 他院予約 / 就労に関する相談 など

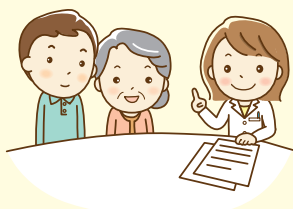
### セカンドオピニオン

セカンドオピニオンに関する相談

**相談時間** 月～金 9:00～17:00（土日祝祭日除く）

●●● 何でもお気軽にご相談ください ●●●

**患者さん**からの相談窓口です。



- 医師・看護師・保健師・ソーシャルワーカー・事務が患者さん・ご家族の様々なご相談をうかがい、解決のお手伝いをさせていただきます。
- 入院患者さんには、病棟担当の患者支援センター職員がきめ細やかに対応していきます。

## 診断書・証明書等の申請について

【申請場所】 1F会計フロア 3番窓口

【受付時間】 月～金（祝日除く） 9：00～17：00

### ●申請のしかた

- ・各種診断書、証明書の手続きは、1階の会計フロア3番窓口にお申込みください。
- ・申し込みから発行までに、3週間程度のお時間をいただきます。  
（記載内容によっては、さらにお時間をいただく場合があります。）
- ・電話での診断書発行のお申し込みは受け付けておりません。
- ・提出先（生命保険）によって、用紙が指定されていることがありますので、ご確認ください。
- ・原則として退院の手続きの後に、申請の手続きをしてください。

### ●発行

- ・事前に、お電話または窓口で作成状況についてお問い合わせください。
- ・受け取り時、文書料金をお支払いいただき交付となります。

### ●ご留意いただきたいこと

- ・各種診断書及び証明書の申請・受け取りについては、ご本人または2親等以内のご家族とさせていただきます。
- ・ご家族または2親等以内のご家族以外の方の申請・受け取りをご希望される場合は、委任状をご提出ください。

## 患者さんの声

入院中に、お気づきの点がございましたら、病棟の看護師長または患者相談窓口にお声かけください。また、ご意見箱も設置しております。ご要望などをお寄せください。

## 来院される皆様へのごお願い

当院では、患者さんが安心して治療を受けられるよう、院内感染対策に取り組んでいます。病院には、感染症の治療を受けている患者さんや治療のために感染しやすくなっている患者さんがいます。私たち職員も患者さんを感染から守るよう対策をとりますが、患者さんご自身やご家族の方にもご協力くださいますようお願いいたします。

### ●面会できない方（面会は原則ご家族等のみとなります）

- 中学生以下
- 熱・咳・鼻水・のどの痛みなどかぜの症状のある方
- 嘔気・嘔吐・下痢など消化器症状のある方

### ●面会時の注意

- 手洗いをしてください。

### ●インフルエンザ等流行期の対策

- マスクを着用してください。

インフルエンザ等は症状が出る前に周囲の人にうつすことがあります。

症状がなくてもマスクを着用して面会してください。職員もマスクを着用させていただきます。



アルコール消毒液は病棟と病室の入口に設置してあります。

- ◆患者さんご自身やご家族の方、医療従事者がインフルエンザなどの感染症を発症することがあります。そのような時は、病院内の感染拡大を予防する措置として、入院及び手術を含めてすべての診療行為をしばらくの間、縮小または制限させていただくことがあります。
- ◆同じ部屋の中で、他の患者さんがインフルエンザにかかっていることがわかった場合、検査をしたり、予防的にお薬を服用していただくことがあります。

## 災害発生時について

- 万一、地震や火災などの災害が発生したときは、職員の指示に従い、落ち着いて行動してください。
- 災害に備えて、避難経路の確認をしてください。
- 近隣の地域で大規模災害等が発生し、多数の負傷者が收容される場合には、主治医の判断で一時的に外泊または退院をお願いすることがありますので、ご承知おきください。

## 施設のご案内

※コロナウイルス感染症対策で面会制限中の営業時間となります。

施設・設備名	設置場所	利用時間	
レストラン (ビアンモール)	3階 (外来棟エレベーター)	平日 土日祝	9:00~14:00 休業
売店 (セブンイレブン)	1階	全日	7:00~23:00
自動販売機	各階デイルーム・1階		
理容室	地下1階	平日 土曜日 日曜日・祝祭日	8:30~17:30 9:00~15:00 定休日
ATMコーナー (山梨中央銀行のみ利用可)	1階	平日 土曜日	9:00~18:00 9:00~17:00
喫茶室	1階	平日 土日祝	9:00~18:00 休業
テレビカード精算機	1階		
テレビカード販売機	各階デイルーム 9階コインランドリー		
Wi-Fiパスコード発券機	各階デイルーム		
イヤホン	各階デイルーム		
コインランドリー	9階		6:00~21:00 (20:00までには終了してください)
公衆電話	1F エントランスホール 3階・5階・7階・8階エレベーターホール		
患者図書室	9階	全日	7:00~21:00 貸出：お一人 5冊まで(目安です) 貸出期間：1週間 (返却は、図書室前にあるブックトラックに置いてください)
屋上庭園	5階・3階南側		

※携帯電話は、病院内の携帯電話使用可能エリアでご使用ください。

(各病棟デイルーム、病室、エントランス等でご使用いただけます。詳細はナースステーションにおたずねください。)

※病院内撮影禁止：個人情報やプライバシーを保護する目的で病院の施設および敷地内での写真や動画撮影・録音を禁止しております。また、SNS等への投稿についてもご遠慮いただきますようお願いいたします。

# フロアのご案内



	A棟（東側）	B棟（西側）	C棟（北側）	その他
9階	通院加療がんセンター ゲノム解析センター	B病棟 951～965号室 （緩和ケア）		患者図書室 コインランドリー
8階	A病棟 801～821号室 （内科・皮膚科・眼科）	B病棟 851～869号室 （内科）		
7階	A病棟 701～721号室 （婦人科・外科・総診 他）	B病棟 751～770号室 （整形外科・形成外科）		
6階		B病棟 651～669号室 （耳鼻咽喉科・口腔外科・ 脳神経外科）		
5階	A病棟 501～522号室 （外科）	B病棟 551～570号室 （内科・外科）		庭園
4階	A病棟 401～423号室 （小児科・小児外科 他）	B病棟 451～471号室 （内科・救命救急科・総診・ リウマチ・膠原病科）	血液浄化センター リハビリテーション科	
3階	A病棟 301～323号室 （心臓血管外科・泌尿器科）	B病棟 351～370号室 （内科・麻酔科）	中央手術室、集中治療室 ICU・RCU・CCU	レストラン （外来エレベーター を利用してください） 庭園
2階	外来 （精神科・皮膚科・産科・ 婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・ 麻酔科・口腔外科） 生理検査室・検査部 輸血管理科	総務課 企画経理課	周産期センター 2C病棟 200～218号室 産科M・FICU NICU GCU	
1階	外来 （小児科・整形外科・ 形成外科・脳神経外科・ 心臓血管外科・小児外科・ 泌尿器科・女性専門科） 放射線部 中央採液室 内視鏡センター	外来 （内科・神経内科・外科・ 化学療法科・緩和ケア科） 医事課・患者相談窓口 栄養相談室 患者支援センター 入退院センター	外来 （総合診療科・感染症科） 高度救命救急センター 薬剤部 防災センター	売店 ATM 喫茶店 授乳室
B 1	放射線治療、ラジオアイソトープ検査			理髪店

## 開錠時間について

### 【平日】

- 正面玄関  
→ 7:00～18:00
- セブンイレブン口  
→ 7:00～18:00
- 東口玄関  
→ 7:00～21:00
- 外来東側玄関  
→ 終日施錠 ※工事に係る安全確保

### 【土曜日・祝日】

- 正面玄関  
→ 7:00～13:00
- セブンイレブン口  
→ 7:00～13:00
- 東口玄関  
→ 7:00～13:00
- 外来東側玄関  
→ 終日施錠

### 【日曜日】

- 正面玄関  
→ 終日施錠
- セブンイレブン口  
→ 終日施錠
- 東口玄関  
→ 7:00～13:00
- 外来東側玄関  
→ 終日施錠

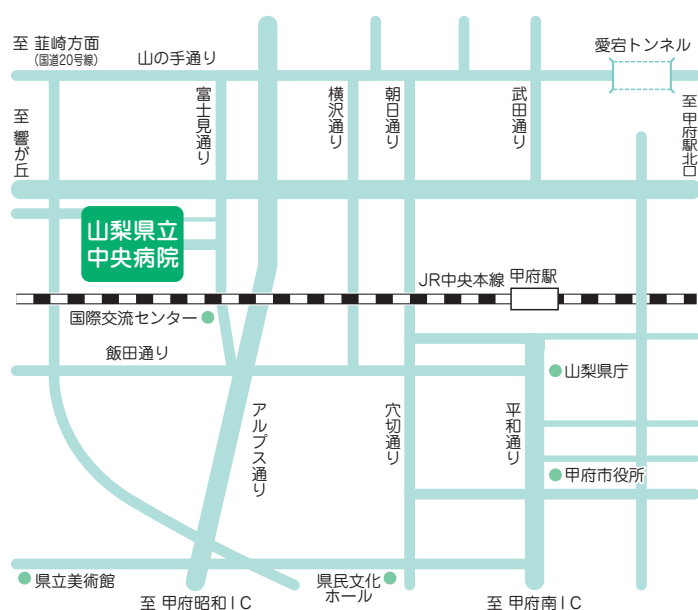


# 駐車場ののご案内

外来患者さんが駐車できないため、  
入院される方の駐車は、お断りさせていただいております。

付き添いの方、お見舞いの方の駐車料金は、原則有料となっています。  
 (「駐車料金」は、7時～14時は無料(土・日・祝日は除く)、それ以外は最初の40分は無料、  
 以後30分毎に100円です。)

## 交通のご案内



### バス利用

甲府駅バスターミナル4番乗り場

【系統番号】	行先
【42・47・53・75】	県立中央病院
【34・56】	敷島営業所
【26】	羽黒経由山宮循環
【77】	竜王駅
【78】	双葉ニュータウン

いずれかに乗車

「県立中央病院」にて下車

5

各施設に関するご案内



親切、信頼、進歩 みんなで支える高度医療



地方独立行政法人山梨県立病院機構  
**山梨県立中央病院**  
 YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号  
 TEL: 055-253-7111(代)  
 URL: <http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

当院は、各種研修指定病院として、研修医および医療技術職の学生が臨床実習を行っています。

2022年3月1日 発行